

政策13 **学校教育の充実**



**現状**

子どもたちを取り巻く教育環境は地域社会のつながりや支え合いの希薄化、家庭の孤立化など様々な課題や学校を巡る課題も複雑化、困難化している状況にあるため、地域と一体となって子どもたちを育てることが求められています。

AI（人工知能）などの急速な技術革新やグローバル化の進展により、生産構造や社会構造が大きく変容し、これらの社会を生き抜き、新たな未来を拓くための「生きる力」を育てる教育の更なる推進が求められています。

学校給食は、成長著しい児童生徒にとって、心身の発達に欠くことのできない重要な役割を担っており、望ましい食習慣につながる食育を推進し、安全な給食を提供しています。

**【町内の各学校の状況】**

(単位：人)

年度	幼稚園		小学校			中学校			高校	
	園数	園児数	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	生徒数
H28	1	230	1	16 (4)	315 (7)	1	8 (2)	172 (6)	1	103
H29	1	212	1	16 (4)	313 (8)	1	8 (2)	186 (8)	1	101
H30	1	206	1	15 (3)	312 (10)	1	9 (3)	165 (7)	1	86
R1	1	203	1	15 (3)	299 (13)	1	8 (2)	162 (3)	1	87
R2	1	190	1	15 (3)	302 (14)	1	8 (2)	160 (2)	1	85

( ) 内は、特別支援学級分で内数

(資料：学校基本調査 5月1日現在)

**課題**

- 学校と地域とが目標や指針を共有し、地域とともに子どもたちを育み、特色のある学校づくりを進める必要があります。
- 情報通信技術（ICT）を活用した教育やプログラミング教育の推進が求められるため、児童生徒が豊かな教育環境の中で教育を受けられるよう取り組む必要があります。
- 「新十津川町学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に施設環境整備に取り組む必要があります。
- より食育の推進を図るため、栄養教諭による、きめ細かな授業を展開するとともに、地元生鮮野菜の使用促進を図り、豊富な食材の提供を目指す必要があります。
- 道立農業高校の安定した入学者数（20人以上）の確保維持につなげるため、学校の魅力と共に基幹産業の農業の魅力を発信する必要があります。



## 展開方針

学校や家庭、地域が一体となり特色ある学校経営に取り組むとともにGIGAスクール※の推進や児童生徒の学力向上を目指し「思考力・判断力・表現力」等の育成に努めます。また、学校施設の計画的な整備を行い教育環境の充実を図ります。

児童生徒に食育の大切さを伝え、地元の新鮮な食材の使用を推し進め、安全・安心な学校給食を提供します。

魅力ある農業高校づくりと入学者数の確保維持に係る支援等について、継続して高校及び関係機関と連携を図ります。

※GIGAスクール：小中学生が情報通信技術（ICT）を使いこなせるよう環境を整えること。

## 実施する施策

### ①学校教育環境の充実



中学生議会



絆給食（母村母県産の食材を使用した給食）



## 実施する施策の内容

### ①学校教育環境の充実

学校と家庭、地域が一体となり、子ども達の考える力・生きる力・豊かな心を育む教育を進めます。また、新鮮で安全・安心な地元産の農作物により学校給食の充実を図るとともに、「食育」授業を通して、正しい食習慣の指導などに努めます。

#### 【役割分担】

町民	町
<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭において基本的な生活習慣、学習習慣をつくる。</li> <li>●学校に関心を持ち、教育活動や学校運営に協力する。</li> <li>●食の大切さや楽しさを家庭の会話を通し教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●TT※によるきめ細かな学習指導を図り、学習への興味、関心を高め、学力の向上を推進する。</li> <li>●学校施設を計画的に整備する。</li> <li>●学校給食の情報をわかりやすく発信し、「食育」を推進する。</li> </ul>

※TT（ティームティーチング）：複数の教師が協力して行う授業方式

#### 【成果指標】

指標となる項目	現況 (R2)	1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	目標 (R8)
標準学力検査結果（％）	50.0%	71.4%	78.5%	85.7%	92.8%	100%
標準学力検査（NRT）の結果が前年度の結果より上回ることで、学力の向上の成果とすることができることから、標準学力検査結果とします。（標準学力検査において、前年度の結果より当該年度の結果が、同様もしくは上回る学年の割合）						
学校に行くのは楽しいと思う割合（％）	92.3% (R1実績)	93.0%	93.5%	94.0%	94.5%	95.0%
学校は楽しいところであるべきであり、客観的に把握できる調査の数値として、全国学力・学習状況調査質問の回答割合とします。						



中学校の剣道大会



タブレットを使用した授業



政策13 **学校教育の充実**

**【主要な取組事項】**

- 指導体制の充実
- 教育内容の充実
- 時代に即した情報通信技術（ICT）の活用
- 学校施設の整備
- 地産地消の推進
- 「食育」の推進



小学校田植え授業



学習サポート事業「やまびこ」

